

# 震災支援で聞いた人々の鼓動、やさしい言葉

## 健康チェックで仮設住宅を訪問、これからは心配

東日本大震災 宮城県山元町生活復興支援平和会チーム・保健師 鷹野 佳代さん

### 生きる力と 向きあつて 現場通信18



畑が元通り使えるように…

去る9月10日、宮城県の山元町への支援行動に参加させていただき、農場のがれき片づけ班と、仮設住宅の全戸訪問班に分かれて取り組みました。

がれきの片づけ班は、津波被害から時間がたつて、乾いた土中のごみやがれきの除去作業が難航。土中から出てくる化粧品や食べかけのお菓子など、津波が来る瞬間まで普通に生活されていた事が伝わってきて、持ち主の方の無事を祈りながらの作業でした。一日かけても、訪問先の畑



駅のホームだけが残された(山村薬剤師撮影)

の1/5しか作業できず、まだまだ支援の手が必要な状況でした。私は仮設住宅を訪問し、健康チェックをしながらお話を聞きました。壁の隙間から隣家がのぞける網戸がなく虫が多い、買った物や通学が不便、夏物の衣類がなくて、シャツを毎晩洗濯しては翌日着ている女性など、劣悪な環境や生活の不便さが浮き彫りになりました。仮設住宅は2年しか住めないのに整備計画が進まず、全く先が見えないのがとてもしんどいなど、深刻なお話もつがいました。また、しんどい思いを誰にも話せず、苦しんでいる方が居られることもわかり、更

なる支援の必要性を痛切に感じました。訪問する中で印象的だったのは「奈良も豪雨で大変なのに、遠くまで来てくれてありがとう」と言葉をかけてくださる優しい心遣いや、先の見えない、行き詰るような生活の中でも玄関先に季節の草花を植え、ご近所との交流やイベントを通じて生活の基盤を整えようと頑張っておられる住民の方の姿です。

震災から半年あまりたち、避難所が全て閉鎖された町のニューズなども耳にします。ただ、現地に行くこと、まだまだ支援を必要としている方がたくさんおられることをひしひしと感じます。この様な方達の生活再建なくして復興はありえません。自分に出来る支援をこれからも続けていきたいし、一人でも多くの方が、自分にできる形で関わる事が被災された方の力になると信じ、息の長い支援活動を行っていくことが大切だと思いました。

下の絵は上と7カ所のまちがいがいがあります。どこでしょう。(印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいはいいりません)

## まちがいがし

10名の方に

正解者の中から図書カード(500円)を進呈



「ご家族のみなさんと一緒に、まちがいがしに挑戦してください。ご応募お待ちしております。」

福井に14基もの原発がある事実、冷静に向きあっている関西人は

《前回の当選者》  
中橋あけみ(二条大路南) 浜口 盟(敷島町) 浦崎 芳子(若葉台) 辰巳 寿一(右京) 美原 将宏(山陵町) 尾上由美子(木津町) 姫野 和子(西大寺町) 高橋 嘉子(法蓮町) 田原 隆子(大和郡山市) 赤井由美子(敷島町)

《前回の解答》  
せ下さい(解答はイラストを切り取って、ハガキに貼ってお送り下さい)。  
\*なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などをお書き添え下さい。ごとしご応募お待ちしております。

## まちがいは7つ



《読者の声》  
現場通信「90歳でひとり暮らしのYさんとの出会い」心温かく拝読させていただきました。近い将来お世話になるかも?

黒酢を使った焼きそば、超ザッパリ、

《読者の声》  
原発0へ！共にできることを…  
敷島町 浜口 盟  
古川師長さんの「その人らしさを大切に！」心して読ませていただきました。一生懸命に取り組んでおられる姿に感謝です。パニックや暴力は認知症の人のSOS。参考にになりました。高齢になると不安が募ります。

《読者の声》  
夏休みも終わり、孫と過ごした約1ヶ月、楽しんでよかったと頑張りすぎたかな！帰ってから3日も寝込んでしまったけど、今はもう元

気。今度は運動会。秋篠早月町 焼田 良子  
台風12号の豪雨で、私の故郷、野迫川村もどつどつたのかと案じています。親戚はいいませんが、村中が知り合いです。自然の力は脅威です。一日も早い復興を祈っています。生駒市 門脇 典子

3月の東日本大震災、今回の台風の被害と、次々に被害が甚大で…。水の恐さを痛感しています。法蓮町 高橋 嘉子

